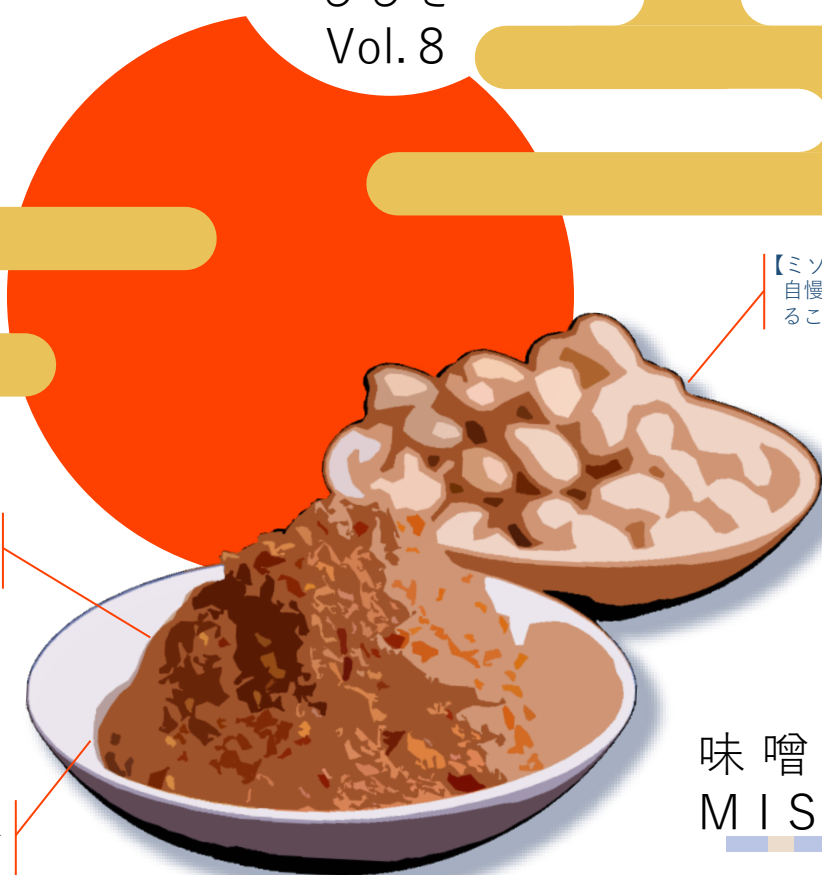




郷音

ひびき

Vol.8



【みそ】

大豆や米、麦等の穀物に、塩と麴を加えて発酵させて作る発酵食品

【ミソ】

自慢とする点、得意にしていること、趣向を凝らした点

【手前みそ】

前置きして自分で自分を褒めること

味噌
MISO

Hibiki vol.8 「みそ」

✂️ “授業から学ぶ”

- ・伝えたい人がいる。伝える目的がある。

✂️ “研修会の窓”

- ・同じ研究主任の、主体性に学ぶ

✂️ “考える部屋”

- ・なんで体育の授業はあるの？

✂️ “連携と接続”

- ・支援をつなぐ、連携を築く
- ・道徳教育全体計画の見直し

✂️ “SSWの笑門来福”

- ・こっそり聞きたい！？

SSWへあんなコト、こんなコト

✂️ “生涯学習課より”

- ・地域コーディネーター研修会

それがミソ。そこがミソ。

私たち教師は仕込んで挑む。
趣向を凝らし、工夫を重ね、
粘り強く仕込んで挑む。

だから時には、
ちょっと得意げに語ってもいい。



授業から学ぶ

(小5・外国語)
「おすすめの場所」



伝えたい人がいる。伝える目的がある。 ～本物のコミュニケーションにするためのミソ～

言語材料を言語活動と効果的に関連付けて指導している小学校外国語科の授業。A小学校の授業から、英語による本物のコミュニケーションにするためのミソが見えてきました。

言語材料を言語活動と効果的に関連付ける

小学校の外国語科においては、文法の用語や用法の指導を行うのではなく、言語活動の中で用いられる表現として聞いたり話したり、活用できるようにすることを大切にしています。

例えば、canを含む文（言語材料）を扱う単元において



canを使った例文を示して何度も口に出して練習するだけでなく...
「隣の席の友達」や「校内の先生」、「自分の得意なこと」について
自分の考えや気持ちを含めながら紹介する言語活動を行おう。

つまり、canを含む文を、誰か（何か）を紹介するときに用いる表現の一つとして、言語活動の中で活用できるように指導します。

ところで、「隣の席の友達」や「校内の先生」、「自分の得意なこと」を
誰に、何のために紹介するの？



必然性が生まれる「誰に」と「何のために」がミソ！

9月に新しいALTを迎えたA小学校

初めての日本。ALTの先生は、きっと知らない土地で生活することに不安を感じているのではないかと。そう先生が投げかけると、子供たちからは次のような反応がありました。



早く日本の生活に馴染んでほしい。日本で生活を楽しんでほしい。
そのために、近くのおすすめの場所を教えてください。

そこで先生は「おすすめの場所」を紹介する言語活動を位置付けました。その言語活動では、「誰に」と「何のために」が明確でした。

「誰に」初めて日本に来たALTの先生に「何のために」新生活に慣れ、楽しんでもらうために

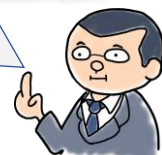
Do you like hot springs? Let's go to ○○
(温泉施設名). You can enjoy a hot spring.
You can eat ramen, too. It's delicious.

近所にある温泉施設について紹介したAさん。
自分が家族と訪れたとき、とても楽しかったから、
ぜひALTの先生にも行ってほしい。そして、
日本で生活を楽しんでほしいと思ったそうです。



Thank you! I like hot springs and ramen.
I will go!

「誰に」と「何のために」を明確にしたことで、おすすめの場所を紹介することに必然性が生まれました。Aさんの、相手意識や目的意識をもって言語活動に取り組む姿は、まさに「本物のコミュニケーション」になっていました。





研修会の窓

同じ研究主任の、主体性に学ぶ ～第3回研究主任研修会～

11月に行った第3回研究主任研修会。①2学期までの自校の研究の歩みの振り返り②2校の実践発表を聞く③来年度の研究の方向性の決め出しを行いました。②の、2校の実践発表についてお伝えします。



「研究主任である自分が、まず学ぶ」 上田市立北小学校 齋藤研究主任

教頭先生から、上智大学奈須先生の講演のビデオを紹介していただいた。研究主任である自分が、まず観てみようと思った。視聴すると、「子ども主体の授業観」にとっても興味をもった。同僚の先生方とぜひ一緒に観たいと思った。

全職員でビデオを視聴。「子ども主体」の授業観に、先生方も関心を高めた様子。ゾーン訪問で指導主事を要請し、「主体的な学び」とは何かを考え合う研修会を開いた。

「まずは、やってみよう」と、社会科の調べ学習の資料を子どもたち自身が見つけ出し、協働して調べる授業を実践する先生が出てきた。その実践から見えたよさや次への課題を、研究主任として全職員と共有し、次の全校公開授業の体育の実践につなげた。



「子ども主体の授業づくり」に自ら挑戦しようとする先生が出てきた

【参加者の声】

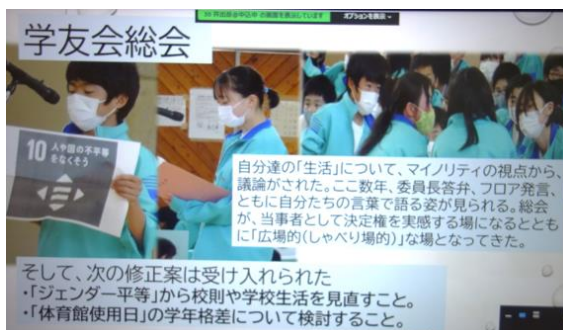
まずは自分自身が一歩を踏み出すことが大切であると感じた。また他の先生が一歩を踏み出そうとするような働きかけと、その先生を研究主任として全力でサポートすることで研究の輪を学校に広げていきたい。

「生徒について、同僚と熱く語り合う」 佐久市立中込中学校 井出研究主任

中学校の教師を長く経験してきて、「もっと開かれた人間関係を中学校でつくることはできないか」「生徒が自分たちで決め、実施する自治を大切にしたい」と考えてきた。「まずは自分のクラス、自分の担当する学年で」と、その実現に向け取り組んできた。

特別活動の教育課程の研究をきっかけとして、上記について研究グループの先生方と共に考えたり、職員間で生徒について語り合う場を増やしたりしながら、生徒を真ん中に置き、研究を積み重ねた。

生徒自身がルールを決めたり、生徒総会で自分の思いを語ったりする生徒の姿が増えてきた。職員同士で生徒について熱く語り合える場面が増えてきた。



生徒の思いを大切に職員で語り合い、研究を進め、生徒の自治が育ってきた

【参加者の声】

中込中学校の授業を参観しました。一人一人の生徒の熱い思いを感じました。また日々の先生方の熱い思いもものすごく感じました。私も、思いを形にする気概が必要だと思いました。



北小学校では、研究主任がビデオを観て進んで研修している。中込中学校では、研究主任が生徒を真ん中に学級経営をしようと取り組んでいる。研究主任の主体性が「ミソ」となっていますね。そして、研究主任自身の思いや感動を、他の職員にも思わず広げている。「まずは自分から」。この姿勢に学びたいですね。

考える
部屋

なんで体育の授業はあるの？

子供たちは楽しそうに運動に取り組んでいる。けれど、そもそも子供たちはなぜこの教科や内容を学ぶのでしょうか。体育の学習を例に考えてみましょう。

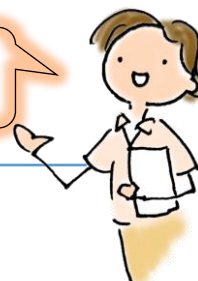


体育の授業ってなんであるんだろう。大人になるとほとんどしないのに…

休み時間や部活動と体育の授業は何がちがうの？



さあ、何と答えますか？



体育の授業には目的があります。

体育科の究極的な目標は

「生涯にわたって心身の健康を保持増進し

豊かなスポーツライフを実現する」

ことです。

運動の楽しさや喜びに触れる経験の中で、実現するための資質・能力を育成することが求められています。



ミソ

体育科の究極的な目標

体育の授業では、プロスポーツ選手など、スポーツアスリートを育成しているわけではありません。跳び箱運動でも、技の完成度を高めることだけであったり、高さに挑戦することだけを目指しているではありません。

3つの資質・能力の育成が、運動の楽しさや喜びにつながるようにしていくことが大切です。

「知識及び技能」の習得

例) 運動の行い方を理解し、基本的な技能を身に付ける

「思考力、判断力、表現力等」を育成

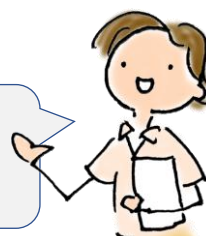
例) 運動についての課題を見つけ、解決に向けて取り組む

「学びに向かう力、人間性等」を涵養

例) 仲間の考えや取組を認めるなどの態度を育む

体育の学習を通して

なぜこの教科、この運動を指導するのかに立ち返り、授業を通して求められていることを教師がしっかり理解して、授業を構想したいですね。各教科等を学ぶ意義を、もう一度立ち止まって考えてみてはどうでしょうか。



支援をつなぐ、連携を築く

進級・進学を間近に控え、特別な支援を必要とする児童生徒への支援が途切れてしまわないよう、引き継ぎや連携について「特別支援教育コーディネーターハンドブック」にある内容をもとに、確認していきましょう。



長野県教育委員会HP
ハンドブック



その子への支援をつなげるために ハンドブック P22、52～

年度末に実施することと 引き継ぐもの

- 個別の支援計画の見直し
 - ・児童生徒の変容や育ち
 - ・有効だった手立て
- 支援情報の整理
 - ・実態把握表等
 - ・支援会議の記録
 - ・相談記録
- 本人・保護者との懇談
 - ・児童生徒の育ちと支援の成果の確認
 - ・次年度の支援についての希望

引き継ぐときのポイント



『できる』情報を!!

- できることと、そのための状況
- 具体的な支援方法



精選した情報を!!

- その子の全体像
- 新しい生活に適応するために必要な内容



顔と顔を合わせて!!

- 年度末から年度当初の早い時期に
- 今までの支援者とこれからの支援者が顔を合わせて



その子を支える連携を築くために ハンドブック P45～

投薬や心理療法等の支援が必要な場合も…



医療機関との連携

- ・教育相談、支援会議などを通して、保護者との信頼関係を築いた上で
- ・その子の強みやよさを伝え、保護者や本人が診断や特性と前向きな気持ちで出会えるように

福祉などへの相談が必要な場合も…



地域の支援機関との連携

- ・家庭や学校では対応できない様々な支援ニーズ
- ・それぞれの機関でどんなニーズに対応できるのか確認

児童生徒たちの家庭・地域の生活を支えてくれる皆さん

ハンドブック P49より抜粋

障害者総合支援センター
療育コーディネーター
障害者生活支援ワーカー
障害者就業支援ワーカー

市町村役場
福祉課ケースワーカー
手帳、特別児童扶養手当等の福祉支援制度を利用する場合の窓口

教育事務所
スクールソーシャルワーカー
行政等に働きかけ、地域でのサポート体制を構築

保健福祉事務所
保健師
健康面や発達面からの相談

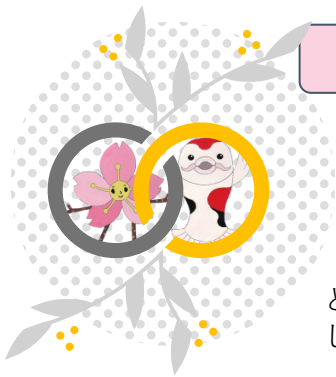
児童生徒
家庭

児童相談所
児童福祉司 児童心理士 児童指導員
児童、保護者との相談 児童の心理診断
心理療法、カウンセリング 助言指導等
児童福祉施設利用の判断 療育手帳交付の判断

地域
児童委員・主任児童委員
児童の生活及び環境の把握。保健その他福祉に関する援助及び指導

発達障がいの診断・判定を受けている児童生徒の割合は毎年増加傾向にあります。このような児童生徒は、特に進級・進学による新しい人との出会いや新しい環境が苦手な場合も少なくありません。これまでの支援をつなぎ、状況によっては地域の支援機関との連携を築き、その子が安心してスタートが切れるよう配慮しましょう。





道徳教育全体計画の見直し

道徳教育の全体計画とは、学校における道徳教育の基本的な方針を示すとともに、学校の教育活動全体を通して、目標を達成するための方策を示した教育計画です。次年度にむけて、この時期に見直しを始めましょう。

学校教育目標の具現化を図った推進をしていきたいです。

年間を見通して指導に効果をもたせたいです。

全職員の共通理解が大切になりますよね。



道徳教育推進教師を中心とした検討会

全体計画の見直しを始めましょう



学校長の方針

校長先生が明示する学校の道徳教育の方針を踏まえ、計画・展開できるように、協力体制を整える。



重点目標

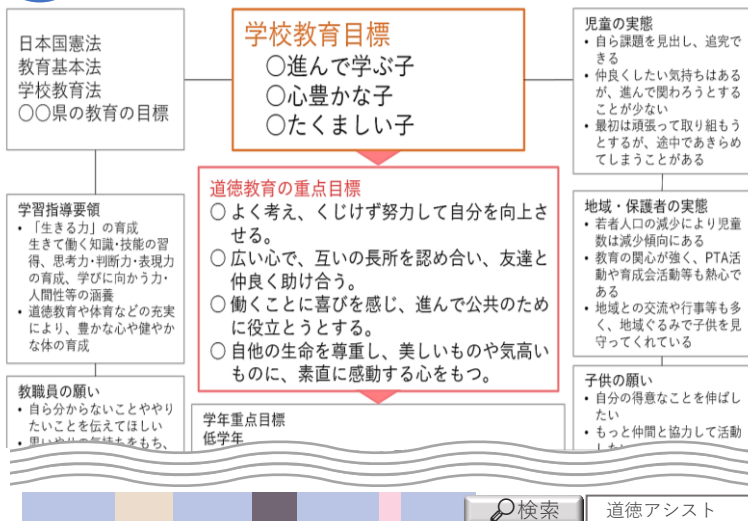
めざす児童生徒の姿を具体的に描き、重点目標を掲げ、そのための重点内容項目や具体的な指導方針を固める。



機会と時期

教科横断的な視点で他の教育活動との関連を考慮し、指導時期などを整え、効果的な指導を計画する。

例



まずは、校長先生の方針をお伺いし、重点目標の設定をしましょう。そして、指導時期を全校でそろえたり、行事等の前後に合わせて調整したりするなど、より効果的な指導になるよう、計画を具体的にしていきたいと思います。




SSWの 笑門来福

みんなの笑顔のために



こっそり聞きたい！？
SSW（スクールソーシャルワーカー）へ
あんなコト、こんなコト

～先生方の代わりにカルプくん  が聞きます！～

Q



実はよくわからない…。
SSWは何をしている人？

SSWは相談する人の「環境のケア」、
SC（スクールカウンセラー）は「心のケ
ア」を主に担当します。

児童生徒や保護者の方の困り
ごとについて、外部機関
（例えば、病院や行政機関、
障害福祉関係機関、どこかわからないけれ
ど学校ではないどこか）の力が必要なので
は…？と思ったら、SSWを呼んでください。



困りごとの「もと」となっている環境を
ケアする（整える）ため、どこの機関のど
んな力が必要か一緒に考え、実際に動いて
いきます。

Q



SSWを依頼したことがなくて…。
どのようにお願いするの？

校内支援チーム内で相談の上、教頭先
生を通して「スクールソーシャルワー
カー相談申込書」の*提出をお願いします。
その後、担当SSWが「初回訪問」に伺
います。状況を把握している先生方から、
より詳しい情報をお聞きして、その後の
対応を検討します。

（※ 市派遣SSWは市教委、その他は東信教事へ）

SSWが関わることについては、児童生
徒、保護者の方への説明、意向確認もお
願いします。



必要な時には、その方法も
一緒に考えます。

Q



実は保護者面談が苦手…。
SSWは面談することが多いと聞くけど、何かアドバイスはある？

よくぞ聞いてくれました！
人に相談するって、実はとてもエネルギーを要することです。



それは、面談に来る保護者の方も同じです。

何にせよ、まずは都合をつけて今日この場に来てくれたことを労いたいです。言葉だけでなく、迎える側の服装や態度、部屋の準備など、迎える環境を整えることも大切で、言葉以上に伝わるものがあります。初回面談など「初めまして」の場は、特に丁寧に考えたいです。

また、SSWはプライベートでシビアな内容を聞くことが多いです。

聞かれる側の気持ちを想像してケアすること（例えば「立ち入ったことをお聞きして申し
訳ないのですが…」と伝える、教えてくれたことへの感謝を伝える）、目的を明確にすること（プライベートな内容にも関わらず、なぜそれを聞く必要があるのか伝える）などを心掛けています。

新年度が見えてくる時期、子どもたちは新しい環境への期待や焦り、不安で心
がざわつきはじめるかもしれません。どんな気持ちも全部OK、大人はその気
持ちを受け止め、寄り添っていききたいですね。



地域コーディネーター研修会

12月7日(水)にオンラインで開催しました

生涯学習課
社会教育

前半はコーディネーターの実践発表とCSアドバイザーの講演、後半は意見交換を行い、コミュニティスクールの充実のために大切なことについて考えました。

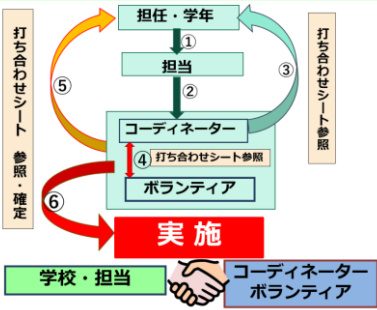
実践発表「CSコーディネーターって〇〇〇よね〜！」

講師 佐久市立野沢小学校CSコーディネーター 元吉純子 さん

講師の元吉さん



野沢小CSのシステム



- 担任は、担当を通してコーディネーターに活動を依頼（打ち合わせシートを作成）①、②
- コーディネーターと担任で、打ち合わせシートを基に活動や準備の役割分担を確認③
- コーディネーターが、活動に必要なボランティアを依頼④
- コーディネーター、ボランティア、担任で活動の内容を共有⑤
- 活動を実施⑥

打ち合わせシートの記載事項

- ☆教科・活動内容 ☆つけたい力（到達点） ☆依頼内容（立場）
- ☆授業の流れ ☆どんな支援を受けたいか（担任が行うこと・ボランティアが行うこと） ☆準備（学校の準備・ボランティアの準備）

学校職員とコーディネーターが、打ち合わせシートを活用することで、ボランティアも授業内容が明確となり、子供の活動の充実が図られます。

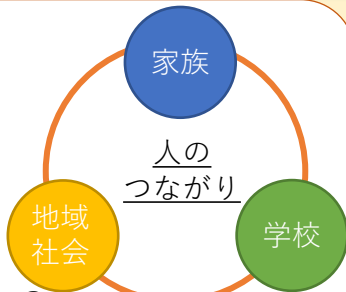


講演「笑顔で紡ぐこれからのコミュニティ・スクール」

講師 飯島町教育委員会教育長・CSアドバイザー 片桐健 さん

地域が子供を育てる

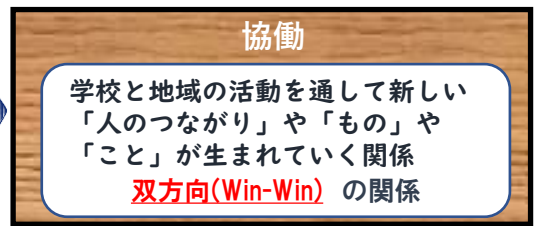
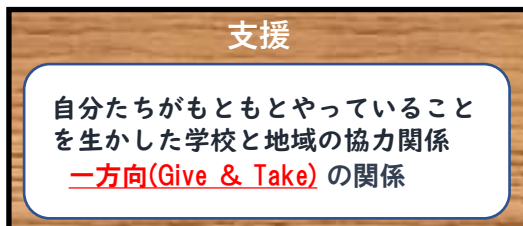
- 一人の子供を育てるには大人一人の目では足りない
- 子供たちに必要な教育は学校だけが担うものではない
- 地域での学び=自由度の高い学び
- 地域での学びにより多様な大人と出会う
- 社会で生き抜く力は「学校外」で育つ？



講師の片桐さん



学校を核にした地域づくり



子供と地域住民が、出会い、学び、つながる居場所に学校になると素敵だなあ。

「子供にとって」の意義だけでなく、「地域にとって」の意義を考えることが、協働活動の充実につながると感じました。

